



2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月1日
東

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所
 コード番号 7965 URL http://www.zojirushi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 2020年10月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の連結業績(2019年11月21日～2020年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	55,782	△6.4	3,920	△4.5	4,013	△8.4	2,674	△12.3
2019年11月期第3四半期	59,589	△7.5	4,103	△21.1	4,381	△21.7	3,049	△18.6

(注) 包括利益 2020年11月期第3四半期 2,739百万円(48.9%) 2019年11月期第3四半期 1,840百万円(△43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	39.55	-
2019年11月期第3四半期	45.12	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	91,959	71,911	77.5
2019年11月期	91,507	71,018	76.9

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 71,301百万円 2019年11月期 70,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2020年11月期	-	13.00	-	-	-
2020年11月期(予想)	-	-	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年11月21日～2020年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△6.5	4,700	△13.7	4,700	△20.0	3,100	△24.0	45.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年11月期3Q	72,600,000株	2019年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期3Q	4,987,621株	2019年11月期	4,996,856株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年11月期3Q	67,607,750株	2019年11月期3Q	67,594,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、当初は雇用環境や企業収益などが緩やかに回復していましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、景気が急速に悪化するなど厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済の減速傾向も続いており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、かまど炊きの特徴である炎のゆらぎを再現する圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』について、本体底ヒーターを強化し、さらに甘みのある、ふっくらとしたごはんを炊き上げるモデルチェンジを実施いたしました。加えて、ホットプレートやコーヒーマーカーの新製品を発売するとともに既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、炊飯ジャーは少人数世帯の増加傾向もあり3合炊きサイズの炊飯ジャーが前年実績を上回り、機能性と使いやすさ、シンプルなデザイン性を兼ね備えた『STAN.』シリーズが好調に推移し、IH炊飯ジャーも売上が増加いたしました。また、圧力IH炊飯ジャーは市場の停滞などの影響で低調に推移していましたが、その後、市場全体の出荷数量が増加したことで売上が回復傾向となり、炊飯ジャー全体としても前年実績を上回りました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移いたしました。電気調理器具では、コーヒーマーカーが前年実績を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症による外出自粛のため巣ごもり需要が拡大したことによりオーブントースターやホットプレートなどの売上が伸長し、電気調理器具全体としては好調に推移いたしました。海外においては、炊飯ジャーは北米市場ではマイコン炊飯ジャーを中心に好調に推移し、台湾市場でも大口案件の効果もあり売上が増加いたしました。電気調理器具では、北米市場でホームベーカリーが前年実績を上回りました。その結果、調理家電製品の売上高は41,186百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、新型コロナウイルス感染症防止のための外出自粛によりステンレスボトルの需要が減少したこともあり、ステンレスマグや飲み方を2通りから選べる2WAYボトルが低調に推移いたしました。また、保冷専用のステンレスクールボトルも売上が減少いたしました。海外においては、中国市場ではステンレスフードジャーが前年実績を上回ったものの、ステンレスマグやステンレスハンドポットが低調に推移いたしました。また、東南アジアや北米でも外出自粛の影響でステンレスマグを中心に売上が減少いたしました。その結果、リビング製品の売上高は11,589百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

生活家電製品につきましては、国内においては、ふとん乾燥機の売上が減少したものの、空気清浄機や食器乾燥器は衛生志向の高まりによる市場の出荷数量増加もあり好調に推移し、加湿器も前年実績を上回りました。その結果、生活家電製品の売上高は1,765百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

また、その他製品の売上高は1,240百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、炊飯ジャーや巣ごもり需要の高まりによって電気調理器具の売上が増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありステンレスマホービンが低調に推移いたしました。また、海外においては、北米の売上は増加したものの東南アジアや中国の売上が前年実績を下回ったことに加えて、海外売上高の為替の影響による円換算額減少も影響し、55,782百万円（前年同期比6.4%減）となりました。利益につきましては、原価の低減や販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、海外売上高の減少や国内外でステンレスマホービンが低調に推移したことによる利益の減少により、営業利益は3,920百万円（前年同期比4.5%減）となりました。経常利益は4,013百万円（前年同期比8.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,674百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

・地域別製品区分別売上高

(単位：百万円)

		日本	海外				計	合計	前年同期比 (%)
			アジア		北米	その他			
			内、中国						
売上高	調理家電	30,666	6,835	2,517	3,679	5	10,520	41,186	2.6
	リビング	4,320	5,976	3,810	854	437	7,268	11,589	△29.5
	生活家電	1,693	72	—	—	—	72	1,765	7.3
	その他	832	275	59	127	5	408	1,240	△8.6
			37,513	13,160	6,387	4,661	448	18,269	55,782
構成比(%)		67.2	23.6	11.5	8.4	0.8	32.8	100.0	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が451百万円増加し、負債が441百万円減少しました。また、純資産は893百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は0.6ポイント増加し77.5%となりました。

総資産の増加451百万円は、流動資産の増加497百万円及び固定資産の減少45百万円によるものであります。

流動資産の増加497百万円の主なものは、現金及び預金の増加4,206百万円、受取手形及び売掛金の減少2,032百万円、電子記録債権の減少248百万円、有価証券の増加400百万円、商品及び製品の減少1,749百万円、原材料及び貯蔵品の増加175百万円、その他流動資産の減少180百万円であります。また、固定資産の減少45百万円の主なものは、建物及び構築物の減少106百万円、リース資産の増加695百万円、ソフトウェアの減少408百万円、投資有価証券の減少601百万円、退職給付に係る資産の増加453百万円であります。

負債の減少441百万円は、流動負債の減少1,362百万円及び固定負債の増加920百万円によるものであります。

流動負債の減少1,362百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少219百万円、リース債務の増加316百万円、未払費用の減少451百万円、未払法人税等の減少432百万円、賞与引当金の減少509百万円であります。また、固定負債の増加920百万円の主なものは、リース債務の増加366百万円、繰延税金負債の増加478百万円であります。

純資産の増加893百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,674百万円、剰余金の配当の支払1,757百万円、その他有価証券評価差額金の減少75百万円、為替換算調整勘定の増加80百万円、退職給付に係る調整累計額の増加15百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるステンレスボトルの売上減はあるものの、巣ごもり関連商品や衛生関連商品が好調に推移し、また市場全体の出荷数量増加により炊飯ジャーの売上が回復するなど、全体では堅調に推移いたしました。

2020年11月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明であることに加え、第3四半期の需要増の反動減なども想定されることから、2020年6月29日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,441	34,647
受取手形及び売掛金	11,937	9,904
電子記録債権	1,452	1,204
有価証券	-	400
商品及び製品	18,461	16,712
仕掛品	267	195
原材料及び貯蔵品	2,213	2,389
その他	2,964	2,783
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	67,731	68,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,710	12,774
減価償却累計額	△9,907	△10,077
建物及び構築物(純額)	2,802	2,696
機械装置及び運搬具	3,672	3,667
減価償却累計額	△3,171	△3,229
機械装置及び運搬具(純額)	501	438
工具、器具及び備品	8,656	9,232
減価償却累計額	△6,907	△7,437
工具、器具及び備品(純額)	1,749	1,794
土地	7,430	7,430
リース資産	0	928
減価償却累計額	△0	△232
リース資産(純額)	0	696
建設仮勘定	26	32
有形固定資産合計	12,511	13,088
無形固定資産		
ソフトウェア	1,224	816
その他	136	125
無形固定資産合計	1,361	941
投資その他の資産		
投資有価証券	7,351	6,750
繰延税金資産	495	461
退職給付に係る資産	1,735	2,189
その他	328	307
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	9,902	9,699
固定資産合計	23,775	23,729
資産合計	91,507	91,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,361	7,142
リース債務	-	316
未払費用	5,380	4,929
未払法人税等	619	187
賞与引当金	1,039	529
製品保証引当金	189	169
その他	657	611
流動負債合計	15,249	13,887
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
リース債務	0	367
繰延税金負債	643	1,122
退職給付に係る負債	2,753	2,844
その他	340	325
固定負債合計	5,239	6,160
負債合計	20,488	20,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,200	4,214
利益剰余金	61,288	62,204
自己株式	△966	△965
株主資本合計	68,545	69,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,005	1,930
為替換算調整勘定	180	260
退職給付に係る調整累計額	△381	△365
その他の包括利益累計額合計	1,804	1,825
非支配株主持分	668	610
純資産合計	71,018	71,911
負債純資産合計	91,507	91,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年11月21日 至2019年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年11月21日 至2020年8月20日)
売上高	59,589	55,782
売上原価	39,893	37,244
売上総利益	19,695	18,538
販売費及び一般管理費	15,591	14,617
営業利益	4,103	3,920
営業外収益		
受取利息	78	57
受取配当金	126	120
仕入割引	26	23
持分法による投資利益	143	61
受取ロイヤリティー	38	25
受取賃貸料	85	84
為替差益	-	35
増値税還付金	175	-
その他	93	49
営業外収益合計	768	457
営業外費用		
支払利息	5	23
売上割引	324	316
為替差損	135	-
その他	25	24
営業外費用合計	490	365
経常利益	4,381	4,013
特別利益		
固定資産売却益	1	-
受取保険金	72	-
特別利益合計	73	-
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	32	15
投資有価証券評価損	27	2
情報セキュリティ対策費	-	41
新型コロナウイルス感染症による損失	-	35
特別損失合計	59	95
税金等調整前四半期純利益	4,396	3,918
法人税、住民税及び事業税	668	640
法人税等調整額	644	540
法人税等合計	1,313	1,181
四半期純利益	3,082	2,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,049	2,674

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年8月20日)
四半期純利益	3,082	2,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△618	△75
為替換算調整勘定	△631	87
退職給付に係る調整額	3	15
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△25
その他の包括利益合計	△1,242	2
四半期包括利益	1,840	2,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,834	2,694
非支配株主に係る四半期包括利益	5	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。